

アンケート調査票

1. 貴社について

ご回答者の所属・氏名連絡先等についてご記入ください。

※1社につき1回答までとさせていただきます。

会社名			
回答者	部署名		
	氏名		
連絡先	電話番号		
	メールアドレス		

【問1-1】 貴社が該当する業務分野を選択してください（複数回答可）

A. 管理分野

1. 料金窓口（窓口、検針、料金徴収、滞納整理等）
2. 施設系の運転管理（監視、運転操作、制御等）
3. 施設系の保全管理（保守点検、修繕等）
4. 管路系の日常的維持管理（住民対応、清掃、突発修繕等）
5. 管路系の計画的維持管理（点検調査、計画修繕等）

B. 更新分野

6. 調査、計画策定、設計、監理（施設系）
7. 調査、計画策定、設計、監理（管路系）
8. 土木建築工事（施設系）
9. 機械設備工事（施設系）
10. 電気設備工事（施設系）
11. 管路施設工事（管路系）

C. 上記に該当しない

12. その他

--

その他の内容を自由に記入してください

--

【問1-2】 貴社が実施している【問1-1】の業務の沖縄県内での実績についてご回答ください。（複数回答可）

1. 沖縄県流域下水道事業
2. 1以外の沖縄県の事業
3. 沖縄県内の市町村の下水道事業
4. 3以外の沖縄県内の市町村の事業
5. 沖縄県内の国の事業
6. 実績なし
7. その他

補足説明を自由に記入してください

--

【問1-3】 参画したことのある下水道事業における公(官)民連携事業方式について教えてください（複数回答可）

A. 実績あり

1. PFI（コンセッション方式）
2. PFI（従来方式）
3. DBO方式
4. DB方式
5. 包括的民間委託
6. 指定管理

B. 実績なし

7. 公募・入札に参加したことがある
8. 参画を検討したことがある
9. これまでは、関心がなかった

C. 上記に該当しない

10. その他

--

回答理由や補足説明を自由に記入してください

--

【問1-4】 問1-3の回答を踏まえて、実績のある公(官)民連携事業の参画時の体制について教えてください（**複数回答可**）

1. 単独で参画
2. グループの代表企業として参画
3. グループの構成企業として参画
4. 下請け企業として参画
5. 参画経験なし

回答理由や補足説明を自由に記入してください

--

2.本事業に対するご関心

【問2-1】 本県での導入を検討しているウォーターPPPに対してどのようなお考えをお持ちですか

1. 非常に関心がある
2. どちらかと言えは関心がある
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えは関心がない
5. 全く関心がない

回答理由を記入してください。

--

例1：沖縄県の地元企業として、これからも貢献していきたいため

例2：ウォーターPPP導入の必要性について理解しているため

【問2-2】 本県でウォーターPPPを導入した場合の懸念事項は何ですか。該当するものに○をつけてください（複数選択可）

1. スケールメリットが十分に発揮されない可能性
2. 他業種とのコンソーシアム調整に時間と労力がかかる
3. 地元企業の参画機会が減少する懸念
4. 他業種との連携がスムーズに進まない懸念
5. SPC（特別目的会社）又はJV（ジョイントベンチャー）内で業務金額の按分が不公平になる懸念
6. リスク分担が不公平になる懸念
7. リソース（人的・物的資源）の確保に伴うコスト増加
8. 物価変動に対応するための価格調整の難しさ
9. 地震や豪雨等の天災発生時の迅速な対応が難しい
10. 参画できなかった場合の自社の損失
11. その他

回答理由や補足説明を自由に記入してください

--

【問2-3】 本県でウォーターPPPを導入した場合、JV又はSPC等の構成企業又は代表企業として参画することは可能ですか

1. 代表企業として参画したい
2. 構成企業として参画したい
3. 条件を一部満たしているが、まだ検討が必要
4. 参画が難しい
5. わからない

回答理由や補足説明を自由に記入してください

--

【問2-4】 本県でウォーターPPPを導入する場合、JV又はSPC等を組成した形で事業に参画していただくこととなります。本事業の規模等を加味し、JV・SPCのどちらが望ましいとお考えですか。また、選ばれた理由（双方のメリット・デメリット）について、必ず自由記述欄に記入してください。

1. JVが望ましいと考える
2. SPCが望ましいと考える
3. どちらとも言えない・わからない

回答理由や補足説明を必ず記入してください

--

例1：SPCが特定のプロジェクトに集中することで、専門的な知識や技術を最大限に活用するため

例2：SPCの設立には法的手続きや初期費用がかかるため

3.想定事業スキーム（案）について

【問3-1】ウォーターPPPを導入する処理区を選定するにあたり、各処理区におけるウォーターPPP事業の導入可能性を確認したいと考えております。各処理区のウォーターPPPの業務範囲のうち、「自社で対応可能」と想定される業務範囲は“◎”、「コンソーシアム形成等により対応が可能」と想定される業務範囲は“○”を選択してください。（複数選択可）

- 1  : 現在想定している業務
- 2  : 現在想定していないが、含める可能性のある業務
- 3  : 存在しない業務
- 1及び2についてご回答ください**

<伊佐浜処理区>

業務内容	施設		管路
	処理場	中継ポンプ場	流域幹線
統括管理業務			
運転管理			
保守点検			
修繕業務			
清掃業務			
安全管理			
苦情要望対応 ※1			
緊急対応 ※1			
水質・汚泥試験			
ユーティリティ等調達			
廃棄物処分			
台帳システム管理			
台帳データ管理			
調査業務(更新計画策定用調査)			
更新計画案作成			
詳細設計			
更新工事（改築工事）			
CM業務（発注支援）			

※1 「苦情要望対応」は管路施設に起因するものを想定し、処理場、ポンプ場等で発生する苦情要望は「緊急対応」に含めます。

回答理由や補足説明を自由に記入してください

例：自社には実績はないがJV・SPC等コンソーシアム形成により対応できる可能性がある

<具志川処理区>

業務内容	施設		管路
	処理場	中継 ポンプ場	流域幹線
統括管理業務			
運転管理			
保守点検			
修繕業務			
清掃業務			
安全管理			
苦情要望対応			
緊急対応			
水質・汚泥試験			
ユーティリティ等調達			
廃棄物処分			
台帳システム管理			
台帳データ管理			
調査業務(更新計画策定用調査)			
更新計画案作成			
詳細設計			
更新工事(改築工事)			
CM業務(発注支援)			

※1 「苦情要望対応」は管路施設に起因するものを想定し、処理場、ポンプ場等で発生する苦情要望は「緊急対応」に含めます。

回答理由や補足説明を自由に記入してください

例：自社には実績はないがJV・SPC等コンソーシアム形成により対応できる可能性がある

<西原処理区>

業務内容	施設		管路
	処理場	中継 ポンプ場	流域幹線
統括管理業務			
運転管理			
保守点検			
修繕業務			
清掃業務			
安全管理			
苦情要望対応			
緊急対応			
水質・汚泥試験			
ユーティリティ等調達			
廃棄物処分			
台帳システム管理			
台帳データ管理			
調査業務(更新計画策定用調査)			
更新計画案作成			
詳細設計			
更新工事(改築工事)			
CM業務(発注支援)			

※1 「苦情要望対応」は管路施設に起因するものを想定し、処理場、ポンプ場等で発生する苦情要望は「緊急対応」に含めます。

回答理由や補足説明を自由に記入してください

例：自社には実績はないがJV・SPC等コンソーシアム形成により対応できる可能性がある

【問3-2】サウンディング条件書のスキーム（案）や性能規定（案）に対するご意見・ご要望があれば教えてください

4.その他事項について

【問4-1】 本県でウォーターPPPを導入した場合、貴社が提案したいと考える業務又は技術等があれば教えてください

--

【問4-2】 今回のマーケットサウンディングにてご回答いただいた内容を踏まえ、対面での個別ヒアリングの実施を検討しております。実施時にお声がけをして良いか、ご回答をお願いいたします。なお、個別ヒアリングは今後の検討内容によっては実施しない場合等がありますので、ご了承ください

1. 個別ヒアリングの参加を希望する
2. 個別ヒアリングの参加を希望しない

補足説明等を自由に記入してください。

--

【問4-3】 その他、ご意見等がありましたらご自由に記入してください

--